

新浄化装置「SGタイプ」埋設工事簡易手順書

正和電気株式会社

〒078-8271 旭川市工業団地1条1丁目3番2号

TEL (0166) 39-7611 FAX (0166) 39-7612

Eメール seiwa@seiwa-denko.co.jp

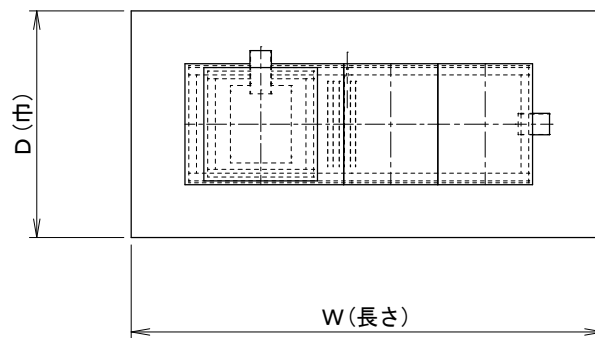
URL <http://www.seiwa-denko.co.jp>

①. 掘削作業（据付設置箇所の掘削）

- ・掘削箇所に埋設電線、ガス管、給水管、排水管等埋設物の有無について調査及び確認後入水・排水の方向を確認し掘削作業を開始する。
- ・掘削作業は「手掘り・機械掘り」が有る。
- ・掘削作業を行なう際は、転落事故や土砂崩れの発生防止対策として必ず土留めを行なう。掘削箇所への転落事故防止対策として周囲に防護柵を設置し関係者以外立入禁止とする。
- ・概略参考の掘削深さ・巾・長さは「図-①」を参照願います。掘削は設置作業、雑排水入口管・処理水出口管の接続作業が容易に出来る寸法とする。

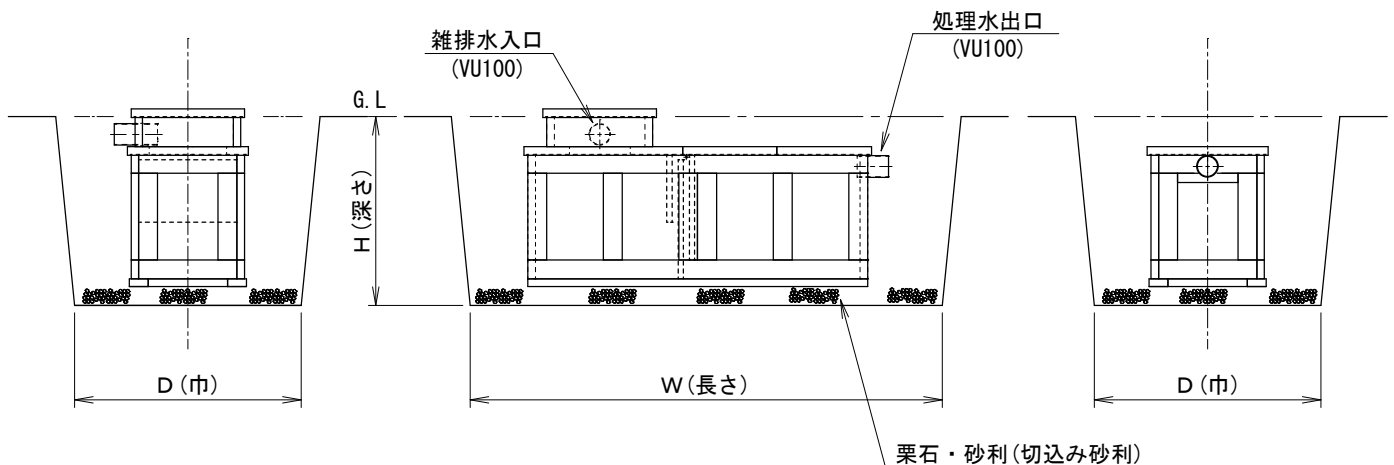
概略参考の掘削「長さ・深さ・巾」について

「図-①」



「表-①」 概略参考の掘削「長さ・深さ・巾」

型 式	W(長さ)	H(深さ)	D(巾)
SG-500	2,500 ~2,800	950 ~1,000	1,200 ~1,500
SG-653	3,200 ~3,500	950 ~1,000	1,200 ~1,500
SG-1340	5,100 ~5,400	950 ~1,000	1,200 ~1,500



②. 地ならし作業（割栗石地業）

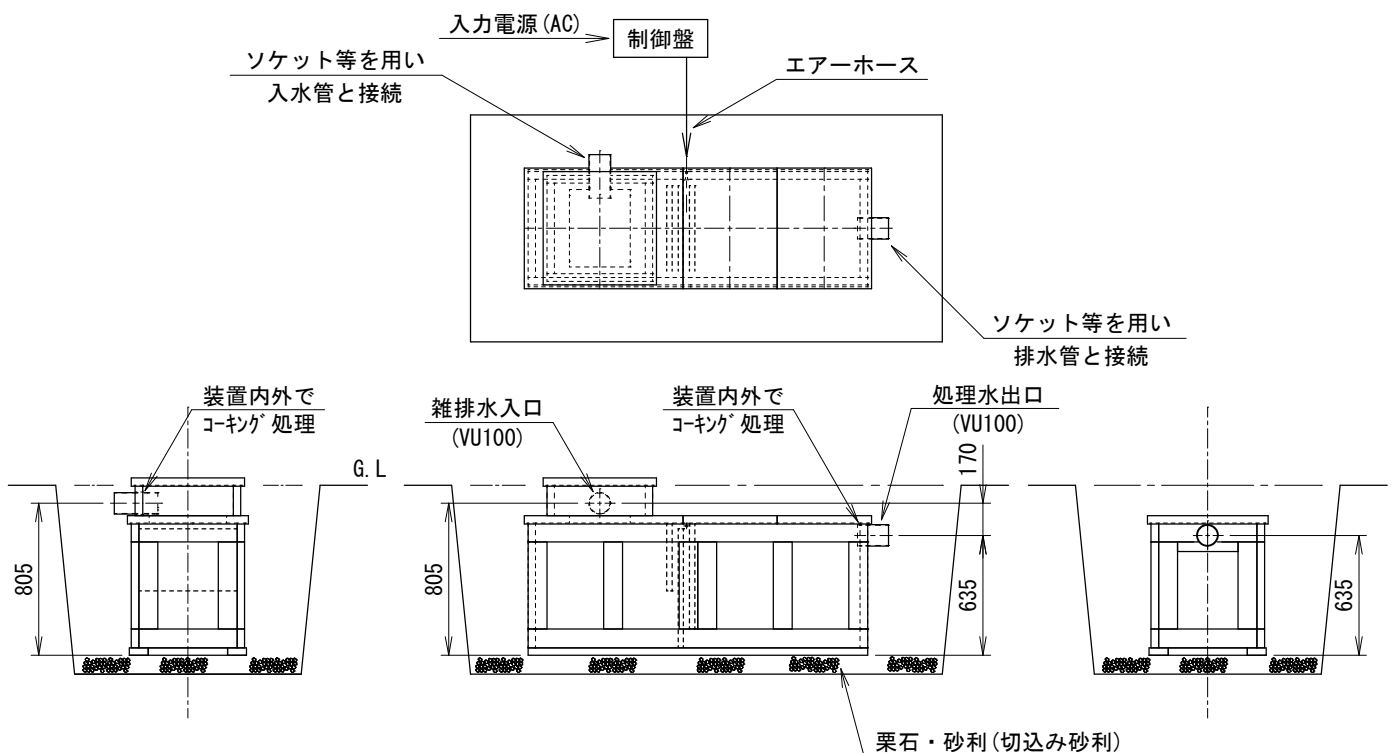
- ・ 栗石（割栗または玉石）と目潰し、砂利（切込み砂利）による栗石地業を行い掘削時に荒らされた地盤を固める。
- ・ 浄化装置が水平に設置されるよう栗石は約50～100(mm)程度の厚さで敷きつめ、栗石が土中に充分くい込むよう念入りにつき固める。
- ・ 砂だけを敷いた場合、雨水等で砂が流され装置の水平が保たれませんので必ず栗石（砂利）を敷きつき固める事。

③. 浄化装置の設置と埋め戻し

- ・ 浄化装置を水平に設置し雑排水入水管と処理水排水管の接続を行なう。
- ・ 附属の入水管 (VU100) と排水管 (VU100) を装置へ差込み、コーキング等で防水処理を行いソケット等を用い入水管及び排水管の接続を行なう。「図-②」参照
- ・ エアーホースは必ず漏れが無い事を確認しを接続する。
またエアーホースには絶対にゴミ・ホコリ等が入らない様充分に注意する。
- ・ 各配管接続が終了すると埋め戻し作業となる。
- ・ 埋め戻し作業に当っては、装置内に土砂が入らない様また極力装置外面に土圧がかからないよう留意しながら埋め戻しを行なう。
- ・ 埋め戻しが完了後周囲に砂利等を敷き整地する。

「入水管」及び「排水管」の接続について

「図-②」



④. 試運転・調整・稼働

- ・ 制御盤に電源を接続しエアーの圧力・吐出量等を確認し雑排水を流し入れ各部の水漏れ等を確認し
- ・ 動作試験を行い試運転・調整が完了、稼働運転を開始する。